

追加アンケートの趣旨

こども計画策定のための基礎資料とするため、こどもの意見聴取の手法としてアンケート調査を実施します。

子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者計画」や、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく「子どもの貧困対策推進計画」にも生かせるよう、子どもたちの自分自身に対する意識や、青少年問題としてあげられる行動（引きこもりなど）をたずねる設問を盛り込んでいます。

1. 小中学生アンケート

対象	小学4～6年生（約1,500票）・中学生（約2,000票）
調査方法	各生徒が保有するタブレットにて回答。
実施時期	令和6年6月末開始予定
設問の趣旨	問1～4：学年・同居家族など属性の把握 問5～7：悩みの内容や相談意向の把握 問8～10：規則的な生活習慣の実態の把握（食事、就寝時間） 問11～15：ヤングケアラーの実態の把握 問16～21：学校生活や学業に対する意識の把握 問22：自分自身の気持ちの把握 問23～24：ゲーム機やスマートフォンの利用実態の把握 問25：楽しい居場所の把握 問26：泉大津市の好感度の把握 問27：自由意見

2. 若者アンケート

対象	16歳～24歳の市民（2,000票）
調査方法	対象者にWebアンケートの案内はがきを郵送し、スマホ等で回答。
調査票発送時期	令和6年6月末開始予定
設問の趣旨	問1～7：年齢・性別・職業など属性の把握 問8：自分自身の気持ちの把握 問9～11-2：引きこもりの実態の把握 （問10はあわせて若者がほっとできる居場所の把握） 問12～12-1：生活上の悩みの相談の意向の把握 問13～17：ヤングケアラーの実態の把握 問18：子ども・若者育成支援施策の意向の把握 問19：「こどもまんなか社会」への意識の把握 問20：自由意見